

診療情報を利用した臨床研究について

虎の門病院臨床感染症科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この案内をお読みにになり、ご自身やご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「ご自身やご家族の診療情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

【対象となる方】

1994年8月1日～2020年3月31日の間に虎の門病院に入院された、20歳以上で、がんの診断を受けたことのある方

【研究課題名】

がん患者の感染症マネジメントにおける感染症科医が果たす役割についての研究

【研究の目的・背景】

《目的》

虎の門病院から感染症科医在籍の利点のエビデンスを発信することを目的とします。

《研究に至る背景》

日本感染症学会が認定する感染症専門医は1564名です（2020年1月22日時点）。一方、米国の感染症専門医は約8000名と報告されています。日本の病院で常勤の感染症専門医が在籍し、感染症診療に携わっている施設は未だ少数派です。また、大学病院であっても、感染症科、感染症学講座がないところも散見されます。虎の門病院では2007年以降、常勤の感染症科医が在籍し、感染症のコンサルテーション・診療に携わってきました。本研究では、虎の門病院特有のがん患者の感染症マネジメントにおける感染症科医が果たす役割について、その得られる利点を明らかにしたいと考えています。

【研究のために診療情報を解析研究する期間】

2020年7月29日 ～ 2025年12月31日

【単独／共同研究の別】

虎の門病院単独研究

【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は 虎の門病院臨床感染症科 荒岡秀樹 のもと研究終

了後 5 年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃棄します。

【診療情報を虎の門病院外へ提供する場合】

本研究では診療情報を院外に提供することはありません。

【利用する診療情報】

診断名、年齢、性別、身長、体重、既往歴、血液検査結果、画像検査結果、薬歴、治療経過、細菌検査データ（薬剤感受性結果など）

【虎の門病院における研究責任者】

国家公務員共済組合連合会虎の門病院 臨床感染症科 荒岡秀樹

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身やご家族の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。

また、ご自身やご家族の診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2020年12月31日までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様に不利益が生じることはありません。

【相談窓口】

虎の門病院 臨床感染症科 荒岡秀樹

電話 03-3588-1111(代表)